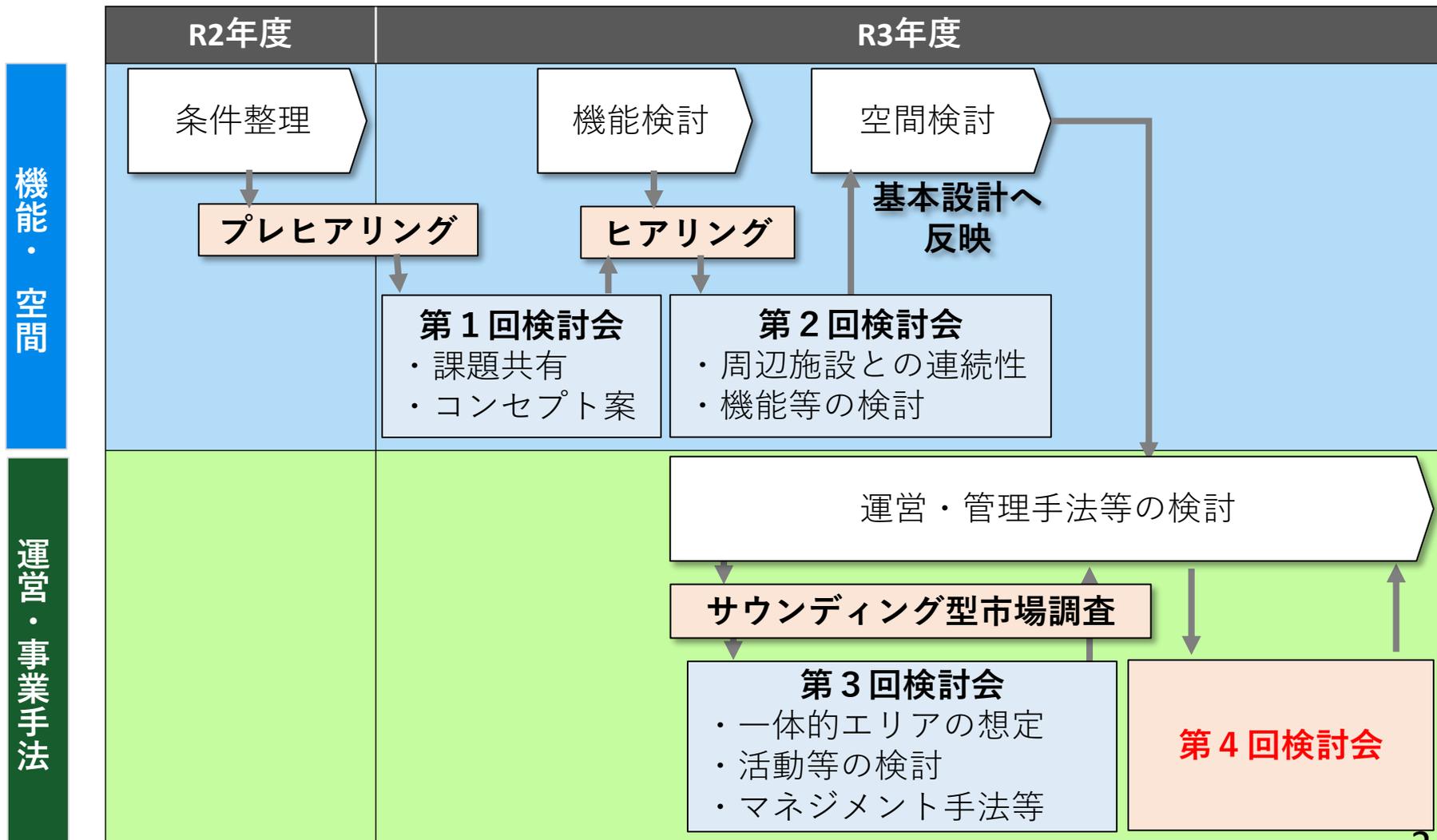


# **新本庁舎低層部等の 一体的利活用について**

**令和4年3月 財政局本庁舎建替準備室**

# 1. 低層部等事業可能性の検討の流れ

仙台市役所本庁舎建替基本計画に掲げる整備の方向性に基づき、新本庁舎低層部と敷地内広場・市道表小路線及び勾当台公園市民広場等との一体的利活用を実現するため、下記のとおり検討会を開催してきた。



## 2. 第3回公民連携検討会のふり返り

### (1) 一体的利活用エリアの想定

- ・ 歩行空間としての南北の軸線を踏まえた**新本庁舎低層部、市道表小路線、勾当台公園市民広場（にぎわいの広場）**を特に**一体的利活用を目指すエリア**とし、**周辺エリア**（いこいの広場、歴史の広場、定禅寺通、つなぎ横丁等）と**連携**していくのがいいのではないか。

**賑わいの波及**や**運営等の観点から引き続き検討**が必要である。

## 2. 第3回公民連携検討会のふり返り

### (2) 一体的利活用エリアでのアクティビティの想定

- ・ 既存イベントとの連携や仙台を題材にしたイベントなど、

#### テーマ性のあるイベントの実施

- ・ 学びや遊びなど、誰もが参加しやすいイベントや、こうしたイベントと市政課題の共有の解決に向けたイベントを関連付けた取り組み
- ・ 日常と非日常の賑わいが両立した空間の実現

既存イベントや周辺エリアとの連携したイベント等の実施にあたり、

**コーディネーター等の調整機能が必要**である。

## 2. 第3回公民連携検討会のふり返り

### (3) マネジメントや運営主体の想定

- ・ 一体的利活用エリアを対象とした組織には、**デザインやファイナンスなど専門的な役割をもつ部門が存在し、組織とは別の第三者が見守る構図が望ましい**のではないかと。
- ・ 運営のための**目指すべき姿（ミッションステートメント）が必要**なのではないかと。

周辺エリアとの一体的利活用にあたり、

**低層部に求められる役割や目指すべき姿を明確化し、**

マネジメント手法や運営組織を検討する必要がある。

### 3. 本日の内容

- (1) 一体的利活用の目的
- (2) 一体的利活用のコンセプト
- (3) 一体的利活用の目指すべき姿
- (4) 事業手法および運営・管理手法
- (5) 想定される事業主体
- (6) まとめ
- (7) 今後のスケジュール

# (1) 一体的利活用の目的

## 勾当台・定禅寺通エリアの現状・課題

### <現状>

- ・居住者及び就業者は増加傾向
- ・周辺エリアの歩行者通行量は減少

### <課題>

- ・まちに出て滞在したくなるような魅力、訪れたくなる魅力を高める
- ・それらの魅力に寄与する空間の整備と利活用の促進、特に、エリアの中心である市民広場周辺における、「シームレスな利活用空間」と「様々な楽しみ（コンテンツ）」の創出

# (1) 一体的利活用の目的

## 本事業の目的

- ①新本庁舎低層部に人々が集う空間を整備し、一番町商店街や定禅寺通、勾当台公園の「賑わい」や「ゆとり」をつなぐ
- ②新本庁舎（低層部・敷地内広場）、表小路線、市民広場等の一体的利活用にあたり、民間活力や公民連携の導入などにより、利用者にとって柔軟な利活用を可能とする枠組みを構築する
- ③周辺エリアにおける既存団体と連携した活動を推進・発信することで、勾当台・定禅寺通エリアの賑わいや価値を高め、まちの回遊性向上に寄与する

## (2) 一体的利活用のコンセプト

### 公民連携検討会（位置づけやあり方についての意見抜粋）

#### < 勾当台・定禅寺通エリアにおける位置づけ >

- ・ 周辺施設との役割分担により **まちの回遊性向上** に資する場とすべき
- ・ 新本庁舎と周辺がつながり、**賑わいが波及** することが大事
- ・ **様々な活動と連携** し、育った各活動を **周囲に波及させる場所** にしていくべき
- ・ **シームレスなまちづくり** の構築
- ・ 商店街など **周辺エリアの経済活動活性化** への貢献
- ・ 将来的な北側地区への展開も視野に入れた **中継地点**

#### < 低層部の機能のあり方 >

- ・ 市民が **気軽に訪れることのできる空間づくり** が意識の向上に繋がる
- ・ 民間主導で可変性のある **クリエイティブな場** の創出
- ・ 自然に人が集まり、いつの間にかクリエイティブに **課題解決できる場** が理想
- ・ 新たな課題について、市民や事業者が一緒に取り組み、**活動を発信する拠点** にすること

## (2) 一体的利活用のコンセプト

### 勾当台・定禅寺通エリアビジョン

- ◆まちづくりに寄与する公共施設・公共空間をつくる
- ◆公・民の空間をつなぎ人や活動をつなぐ
- ◆多くの人々や民間投資を呼び込む

### 本庁舎建替基本計画

- ◆都市の新たな価値を生むための市庁舎  
新たな価値と交流を育む場 都市の魅力を伝える場
- ◆都市に開かれた市庁舎  
まちの賑わいや商業機能の連続性  
人々が集い、安らぐ憩いの場

### 公民連携検討会

- ・まちの回遊性向上に資する場
- ・シームレスなまちづくりの構築
- ・市民が気軽に訪れやすい空間づくり
- ・新本庁舎と周辺がつながり賑わいが波及
- ・周辺エリアの経済活動活性化
- ・クリエイティブな場の創出
- ・様々な活動を連携させ周囲へ波及
- ・将来的な北側地区への中継地点
- ・課題解決の場
- ・活動を発信する拠点

### コンセプト

多様な主体が集い新たな  
チャレンジを育む空間の創出

シームレスで柔軟性のある  
利活用スキームの構築

公民連携により  
エリアブランディングに貢献

## (2) 一体的利活用のコンセプト

検討会の議論等を踏まえ、コンセプトの取組みを具体化すると以下のとおり。

### 多様な主体が集い 新たなチャレンジを育む空間の創出

- ・ 仙台の市民協働の歴史等を背景に、市民と行政、企業等による協働・共創を育む空間を設け、新たな価値の創造を推進します
- ・ 仙台の持つ多様な人材や企業・大学等との連携により、地域課題の解決や市民サービスの向上につなげます
- ・ 快適な滞留空間や憩いの場といった、日常的に市民が集い、生活を豊かにする空間を整備します

### シームレスで柔軟性のある 利活用スキームの構築

- ・ 一番町商店街や定禅寺通といった周辺エリアとの回遊性向上を図ります
- ・ エリア内での連続性を意識した、シームレスな空間づくりを進めます
- ・ 申請手続の一本化など、利用者にとって柔軟で使いやすい空間を目指します

### 公民連携により エリアブランディングに貢献

- ・ 定禅寺通や勾当台公園等での活動と連携し、相互に賑わいを波及させます
- ・ 地域のステークホルダー等も含めた公民連携スキームを構築します
- ・ コーディネート機能を導入し、エリアでテーマ性を持った活動を実施・発信、来訪者や民間投資を呼び込むなど、エリアの価値向上につなげます

# (3) 一体的利活用の目指すべき姿

## ① 一体的利活用の中心エリアについて



### 一体的利活用の中心エリア

歩行空間としての南北の軸線を踏まえ、新本庁舎（低層部・敷地内広場）、市道表小路線、勾当台公園にぎわいの広場（市民広場）を特に一体的利活用を目指すエリアとしつつ、既存イベントの利用状況や維持管理・運営面から歴史の広場、いこいの広場も含めたエリアで検討を進めていく。

### 連携するエリア

賑わい波及等の観点から、一番町商店街、定禅寺通、つなぎ横丁等の周辺エリアは、連携すべきエリアとして検討を進めていく。

## ② 一体的利活用エリアでの活動イメージ

第3回公民連携検討会での議論を踏まえ、一体的利活用エリアでの活動イメージを以下のとおり整理。



■ 学び・遊び・実践のグラデーションによる誰もが参加しやすい空間



■ 仙台・東北の思いを伝える、仙台がもっと好きになる空間

■ 同時多発的に様々な活動が起こるが、それら全体がテーマ性を持って一体的に利用される空間

■ 道路空間が一体的利活用、賑わいのポイントとなる空間



■ 既存イベントとの連携

■ 日常的に様々な人に利用される空間づくりが重要



### ③ 一体的利活用の目指すべき姿

検討会の議論や他都市事例を踏まえ、目指すべき姿（ミッションステートメント）を以下のとおり整理。

一体的利活用の  
目指すべき姿

- ① 多様な主体が連携した**新たな価値の創造**や**地域課題の解決**により、**市民サービスの向上につながる空間を創出**する
- ② まちの賑わいに貢献するため、日常的に市民が集い、**交流とゆとりを楽しむ快適な空間を創出**する
- ③ 利用者にとって使いやすい環境を目指すため、**シームレスな空間づくりや手続きの簡素化**を図る
- ④ 公民連携の取組みにより、エリア一体での活動を推進・発信するなど、**周辺エリアと相互に賑わいを波及させること**で、**エリアの価値向上**につなげる

# ③ 一体的利活用の目指すべき姿

目指すべき姿の実現に向けた各エリアでの検討項目（検討会等より）



## 新本庁舎（低層部・敷地内広場）

- ・ 民間による一体的な管理運営
- ・ 創造的かつ賑わいを生み出す機能
- ・ 周辺施設をつなぎ、賑わい創出に貢献するハブ機能
- ・ 柔軟な利用を可能にする運営手法

## 市道表小路線

- ・ 土日の歩行者天国化
- ・ 土日の道路上でのイベント開催等
- ・ 敷地内広場および公園と統一されたデザイン

## 勾当台公園

- ・ にぎわいの広場（市民広場）、いこいの広場、歴史の広場の一体的な管理
- ・ 魅力的な空間創出 ・ 既存イベントとの連携



## ②事業者およびプラットフォームの定義

一体的利活用に向けては、

「運営を行う**事業者**」に加え、

「地域の多様な活動を取り込む**プラットフォーム**」も必要ではないか

### 事業者

- ・ 仙台市と契約する、運営・維持管理等を行う民間の事業者

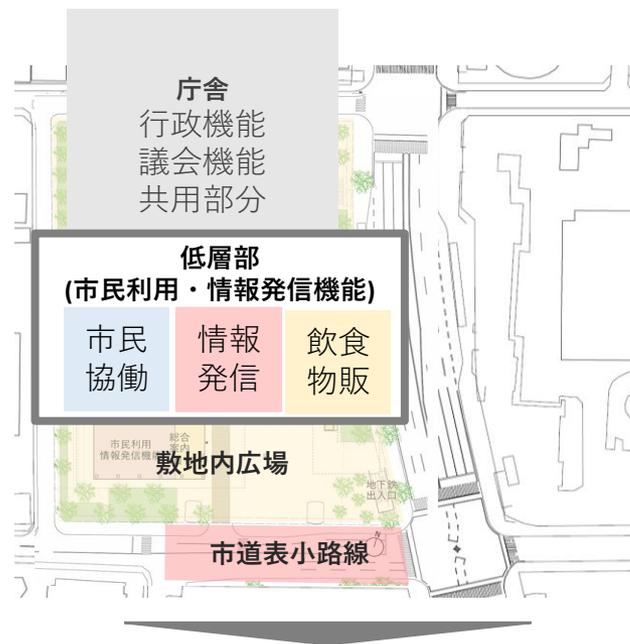
### プラットフォーム

- ・ 仙台市、事業者、地元商店街、市民団体、地元団体、NPO団体、協力企業、専門家等で構成された任意の協議体
- ・ 地域の多様な活動を取り込み、かつ、円滑な一体的利活用を柔軟に進めていくことを目的に、一体的な利活用にあたってのルール作りやコーディネート機能を行うことを想定

## ②事業者およびプラットフォームの定義

事業者が実施する

運営・維持管理業務のイメージ



業務名	低層部	敷地内広場	道路	公園
施設整備業務	○ (内装を想定)	○		勾当台公園再整備 検討懇話会において、具体的に検討
開業準備業務	○			
維持管理業務	○	○		
運営業務	○	○	○	

※空間ごとに異なる事業者が実施する可能性がある。

- 施設整備業務：飲食等の内装工事を想定。
- 開業準備業務：開業前広報、誘致業務等を想定。
- 維持管理業務：植栽管理等を想定。本庁舎の行政機能等の部分も含めたあり方についての検討も必要。
- 運営業務：統括管理、広報・魅力発信、飲食・物販サービス等提供、イベント運営等を想定。

### ③事業者とプラットフォームの関係性（他都市事例）

参考事例	プラットフォーム 構成員	プラットフォーム 役割	事業者 役割
姫路市	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 商業者</li> <li>● 交通事業者</li> <li>● 地域団体</li> <li>● N P O</li> <li>● 行政</li> <li>● 専門家等</li> <li>● オブザーバー</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">                     設計者 運営者 活用者 監理者                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ルールづくり</li> <li>● 議論の場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>事業者として申請窓口も含めた運営</b></li> </ul>
南池袋公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元商店会長・町内会長</li> <li>● <u>造園、カフェ運営事業者</u></li> <li>● 学識経験者</li> <li>● 寺町関係者</li> <li>● <u>豊島区</u></li> <li>● (株) nest</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>イベント利用についての審議（申請は行政）</b></li> <li>● 運営上の課題共有、アクション検討</li> <li>● イベント等企画、実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【カフェ運営事業者】</li> <li>● カフェ運営</li> <li>【造園事業者】</li> <li>● 造園</li> </ul>
丸の内仲通り	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大丸有まちづくり協議会</li> <li>● <u>千代田区</u></li> <li>● 東京都</li> <li>● J R 東日本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ルールづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プラットフォームが策定するガイドラインのもと、<b>様々な活動を推進</b></li> <li>● <b>相談・申請窓口</b></li> </ul>



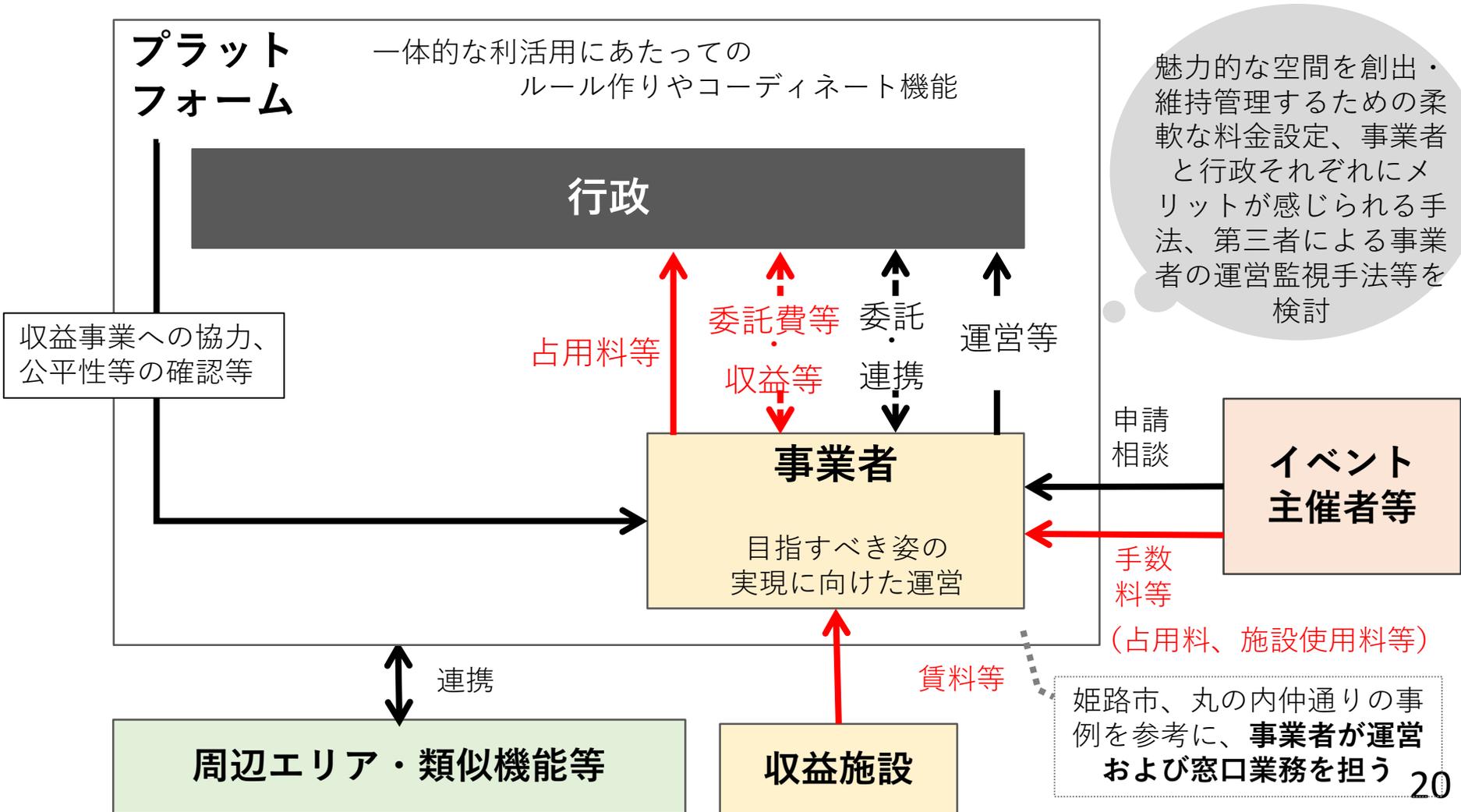
公共空間を利用したい場合、**相談窓口を事業者としている事例（姫路市・丸の内中通り）** および **プラットフォームとしている事例（南池袋公園）** の2パターンが考えられるため、両方の可能性で検討を進める。

# ③事業者とプラットフォームの関係性

## 低層部事業者およびプラットフォームの役割分担イメージ (案1：相談窓口＝事業者)

→ お金の流れ  
(破線矢印は、未確定なもの)

→ お金以外の流れ

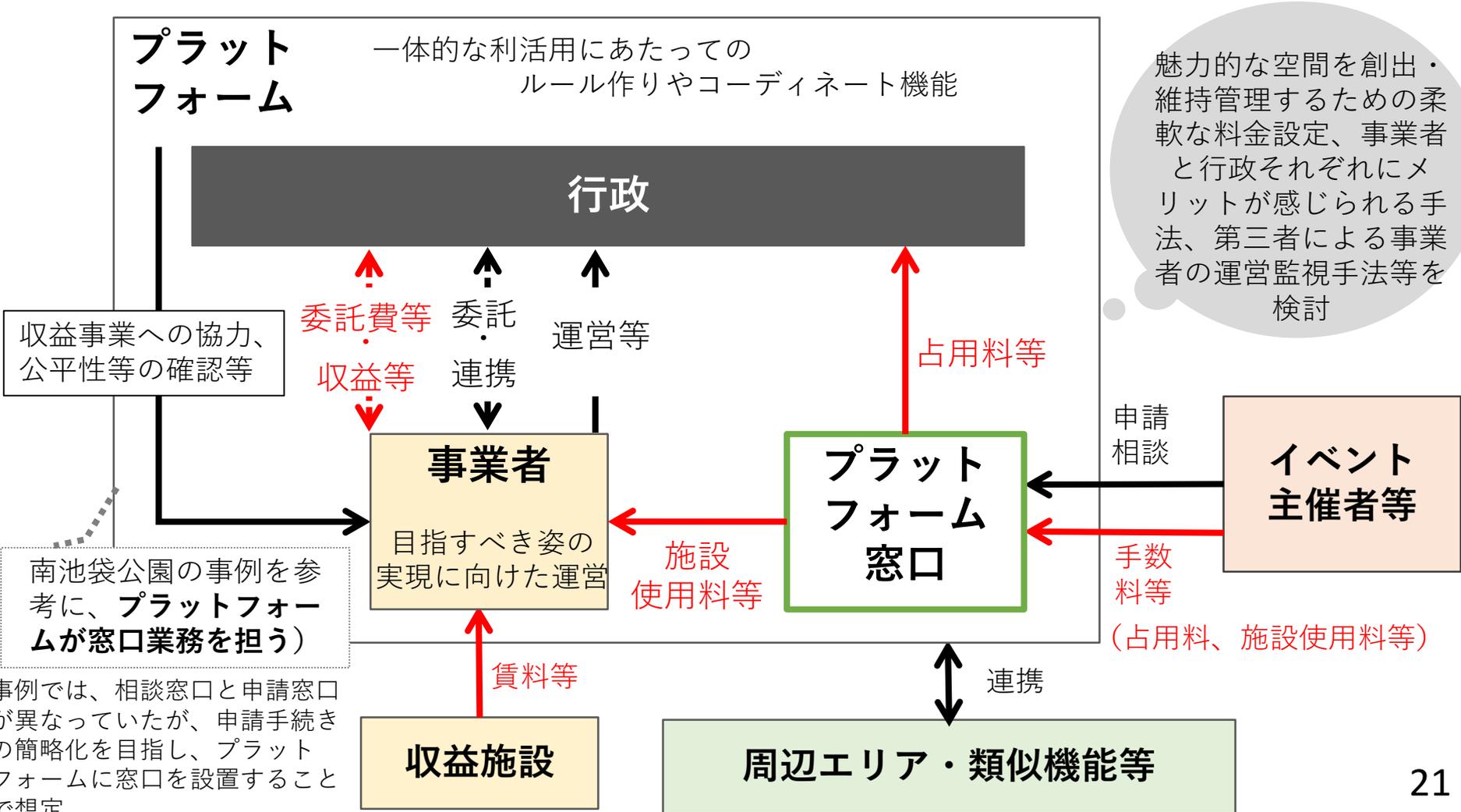


### ③事業者とプラットフォームの関係性

低層部事業者およびプラットフォームの役割分担イメージ  
(案2：相談窓口＝プラットフォーム)

→ お金の流れ  
(破線矢印は、未確定なもの)

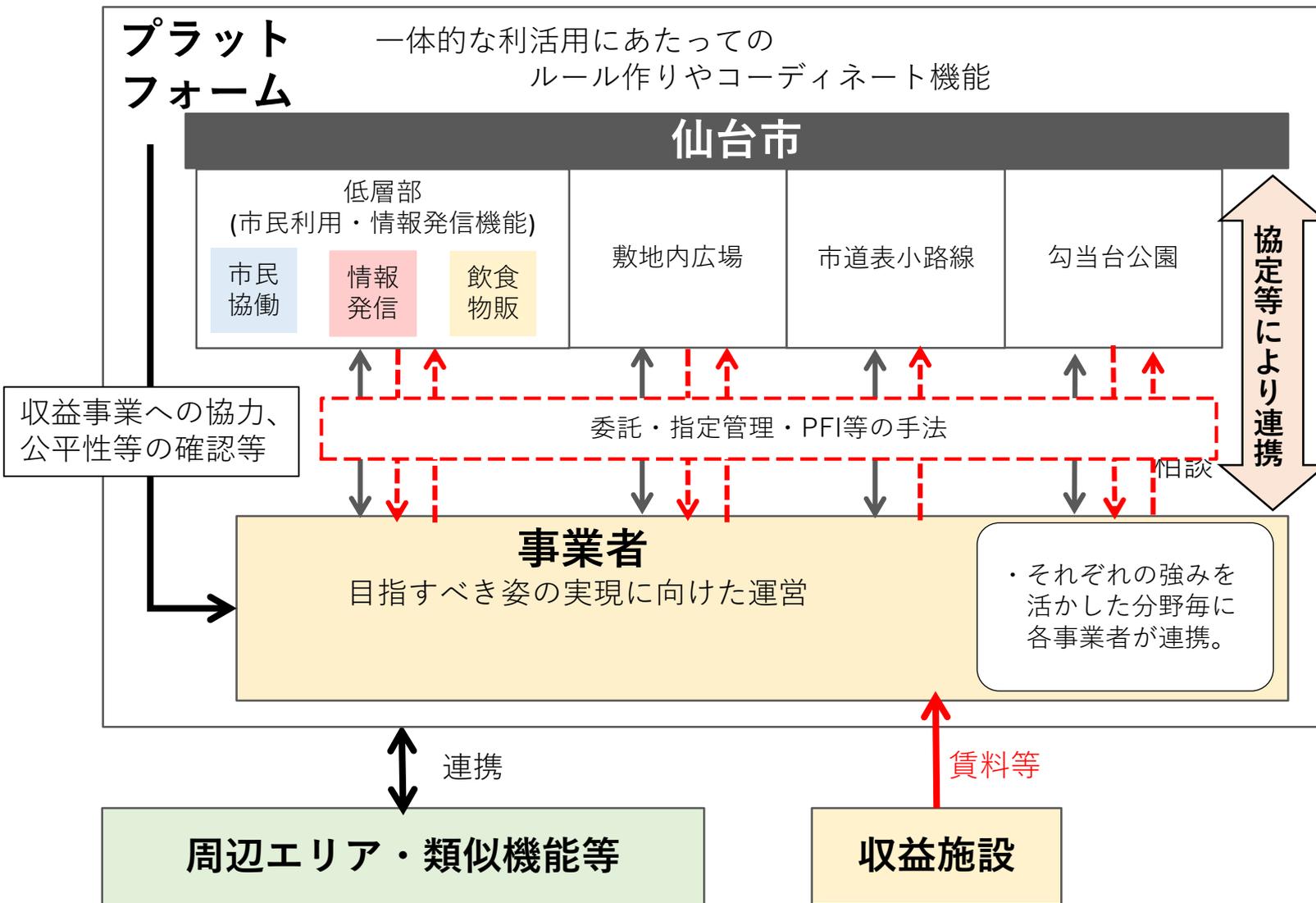
→ お金以外の流れ



# ④事業手法（案）

他都市事例等も踏まえた事業手法のイメージを下図に示す。

 契約等  
 お金の流れ



# ⑤ 運営・管理手法のイメージ図

手法や各事業者の  
連携方法等は  
引続き検討

仙台市

施設整備・所有

庁舎  
行政機能  
議会機能  
共用部分

低層部

市民  
協働

情報  
発信

飲食  
物販

敷地内広場

市道表小路線

勾当台  
公園

勾当台  
公園

つなぎ  
横丁

貸付 または 委託+貸付

委託 または 指定管理

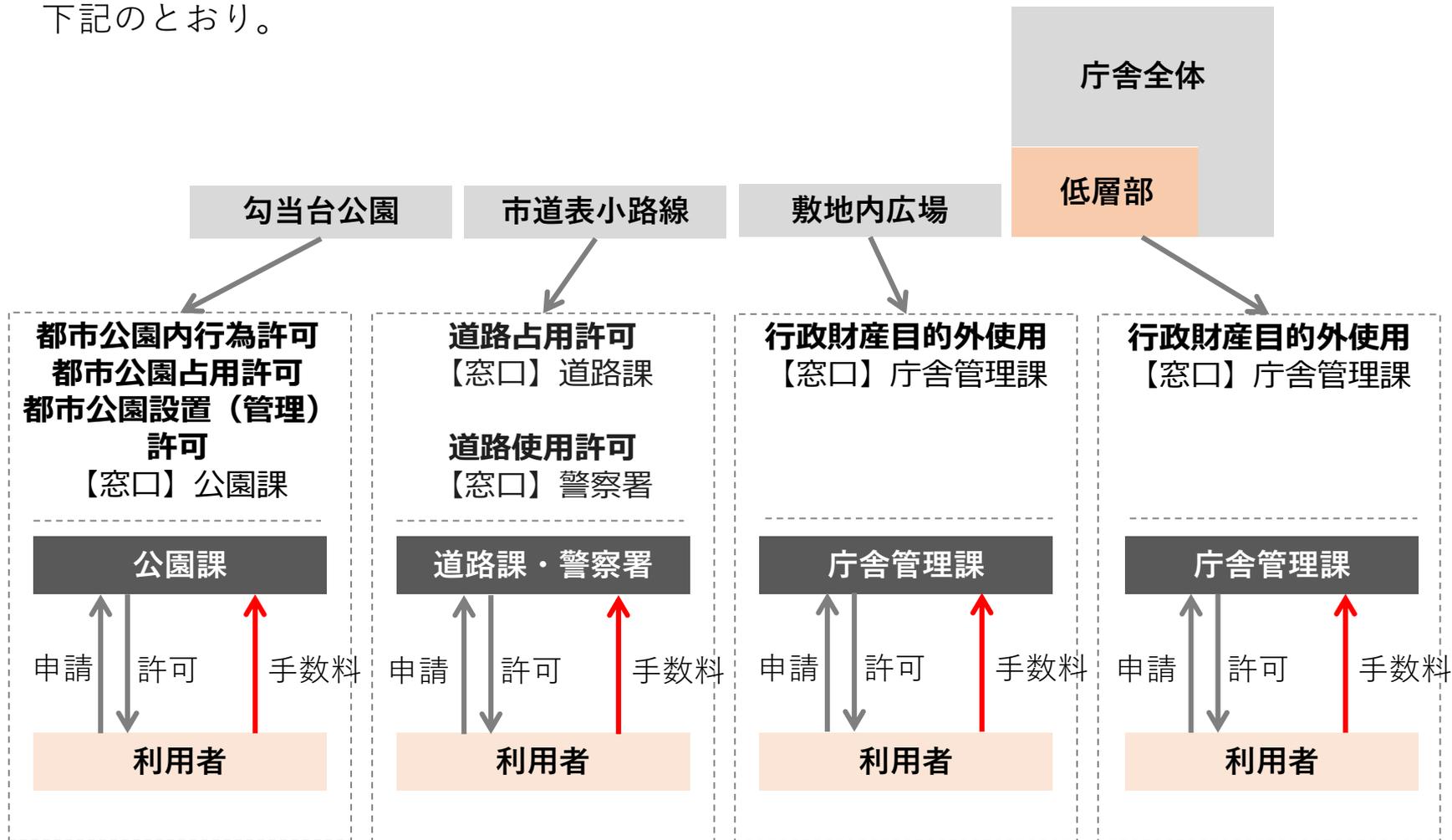
都市再生整備計画による利  
活用（都市再生推進法人へ  
の指定も視野に検討）

勾当台公園再整備検討懇話  
会において、ふさわしい手  
法を具体的に検討

一番町商店街や定禅寺通と  
の連携や賑わい波及の観点  
から、取扱いを検討

# ⑥ 一体的利活用に向けた管理体制

一体的利活用検討エリア内における行政所有の空間上での、現在の主な手続きは、下記のとおり。



一体的に利用したい場合には、利用する空間ごとに様々な手続きが必要

## ⑥ 一体的利活用に向けた管理体制（他都市事例）

### 大阪市

- マネジメントに関わる行政側の組織を一本化し、相談窓口をワンストップ化している事例。
- 所管業務が集約化されることにより、公共空間の一体的利活用が容易になり、事業者への支援体制が強化されることで、円滑な利活用に繋がる。また、1つの部署が包括して長期的にエリアマネジメントに携わっていくことで、エリアブランディングに向けた調整も容易となる。

### 福井市

- 道路の利活用について、道路管理者と警察に個別申請する必要がなくなり、事業者=プラットフォーム（まちづくり協議会）の事務局となっている『まちづくり福井株式会社』が申請を取りまとめている事例。
- 事業者が公共の複数担当窓口に一括申請できることにより、イベント利用者の利便性向上につながり、申請手続きの簡略化の参考となるもの。

### 丸の内仲通り

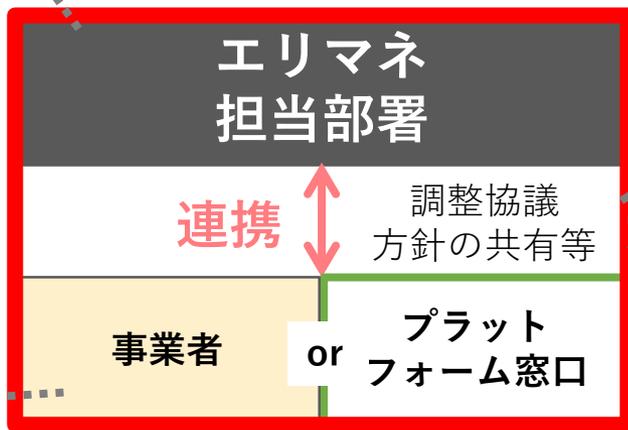
- プラットフォーム（大丸有まちづくり懇談会）が策定したガイドラインをもとに様々な活動を推進している事業者（リガーレ）が申請を受け、公共の複数担当窓口に一括申請している事例。申請手続きの簡略化の参考となるもの。
- イベント利用者の占用料等の他に協力金という収益を得ている点について、継続的な活動を実施していくという観点から、今後本市スキームでも検討が必要。

# ⑥ 一体的利活用に向けた管理体制

公共空間を活用しやすい空間にするため、行政内部における連携に加え、利用者の目線を持った**マネジメント**に関わる**対外的な窓口が一本化**されることが望まれる。

大阪市の事例を参考に、**行政側の組織を一本化**

## 窓口の一本化



申請等

警察署

申請等

庁舎・道路  
公園等  
管理者

申請等

保健所等

連携

福井市、丸の内仲通りの事例を  
参考に、**相談申請窓口を一本化**

福井市：事業者かつプラットフォーム窓口  
丸の内仲通り：事業者

調整協議・相談・申請

利用者  
出店者  
イベント主催者

# (5) 想定される事業主体

## ① 事業者の想定

一体的な運営・管理を踏まえて想定している事業者の運営・維持管理業務

業務名	低層部	敷地内広場	道路	公園
施設整備業務	○ (内装を想定)	○		勾当台公園再整備 検討懇話会におい て、具体的に検討
開業準備業務	○			
維持管理業務	○	○		
運営業務	○	○	○	

### 1. 一体的運営・管理のため、多種多様な業務を行う必要性

管理者は仙台市ではあるものの、想定している事業者の業務分野も様々であることから、求められるノウハウは多様になっている。

### 2. 安定的で質の高いサービス提供のため、ノウハウ等を活かした運営を行う必要性

新本庁舎低層部に加え敷地内広場等も含めたエリアで長期的な運営管理を行うため、一定の経営基盤や類似事業の経験等を有する企業の参入が求められる。

### 3. 周辺との連携によりエリアの価値向上に資する必要性

既に活動している地域団体やその構成員等、地元のステークホルダーが参加することで、周辺と連携し、一体となった事業実施が可能となる。

**大手や地元企業等の複数の事業者が関与する仕組みが必要**であり、その体制については引き続き検討する。

## ②プラットフォームの想定

### プラットフォーム構築の必要性

- ① 目指す姿などについて、民間、行政などの関係者が認識を共有しながら、周辺エリアや既存イベント等との連携を進めていく必要があり、それらの関係者を巻き込みながら目指す姿の具体化を進めるための枠組みが必要
- ② 公共性を保ちながら、創造的な空間を創出していくために、一体的利活用エリアのルールづくりが必要

### プラットフォームの組織イメージ

#### 1. 目的

低層部の運営にあたり、地域の多様な活動を取り込み、かつ、円滑な一体的利活用を柔軟に進めていくこと

#### 2. 構成員

仙台市、事業者、地元商店街、市民団体、地元団体、NPO団体、協力企業、専門家（デザイン、ファイナンス等）

#### 3. 組織イメージ

先進事例等より、組織のなかには専門的な役割をもつ部門が複数あることを想定。



### ③事業者とプラットフォームの関係性へのご意見

サウンディング型市場調査を実施したところ、下記のとおり意見をいただいた。

#### ■サウンディング型市場調査の概要

実施期間：令和3年10月27日～11月 1日

対象事業者：公募により、計8事業者（デベロッパー、エリアマネジメント団体、ゼネコン、駐車場管理等）が参加

#### ■サウンディング型市場調査の結果

《プラットフォームの関与度が高い場合》

- 地元住民・団体や企業の声を反映させやすい。
- 一体的利活用を目指すにあたっては、新本庁舎（低層部・敷地内広場）、市道表小路線、市民広場のエリア全体をイベント主催主体である地域団体等が参画するプラットフォームが一元的に予約管理した方が望ましい。
- 事業者による適切なマネジメント、管理等が損なわれるリスクがある。
- 本事業の業務に対する運営事業者とプラットフォームの関与度については、実証実験等の結果を踏まえた柔軟な対応を望む。

# ④事業者とプラットフォームの関係性の比較

実証実験等を通じて検証

プラットフォーム構成団体・  
企業の関与度合

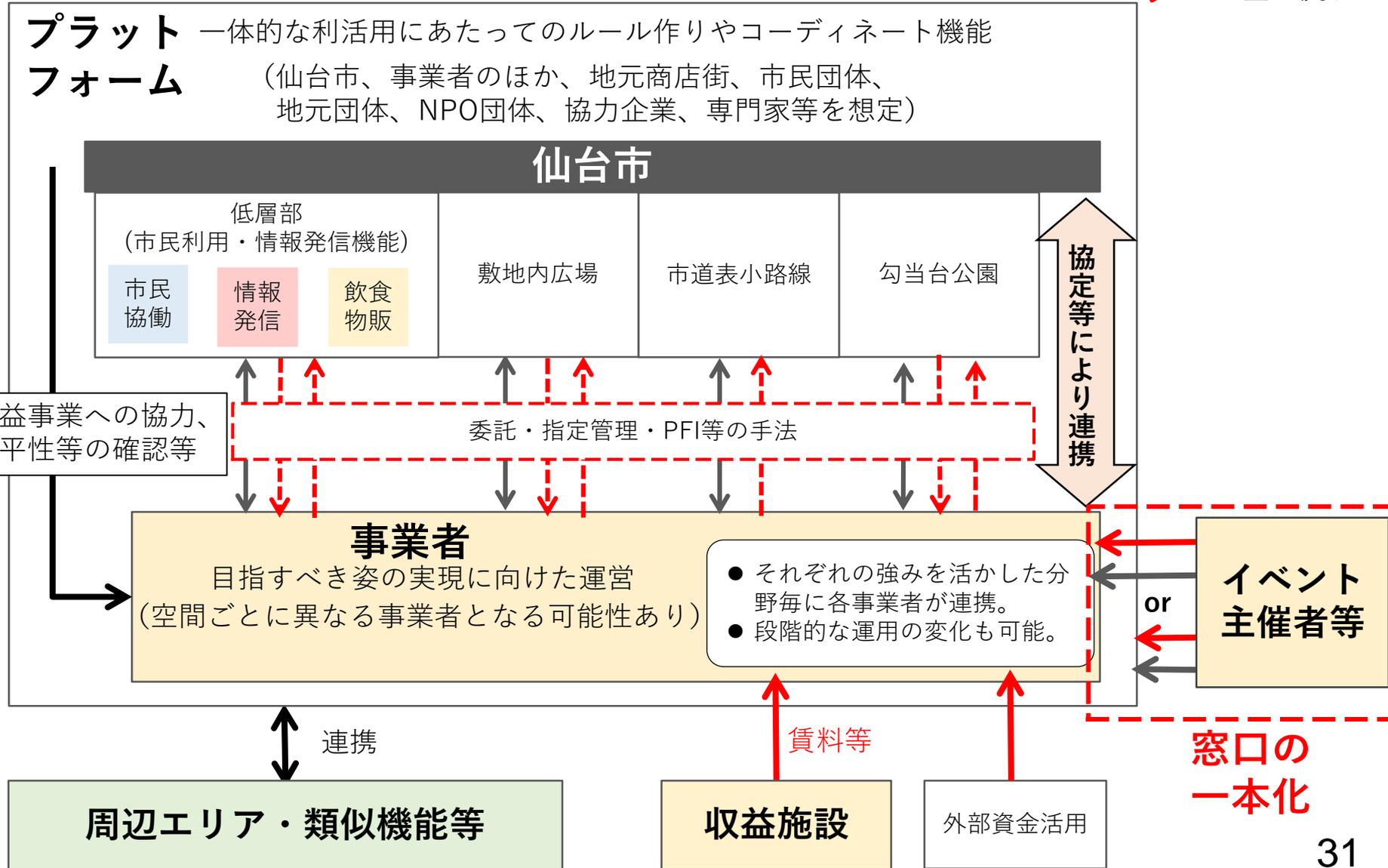
事業者の関与度合

		プラットフォーム関与度高	事業者関与度高
概要		地域団体等が参画するプラットフォームが公園等の利用申請代行業務やエリア全体の包括的予約管理等を担い、事業者と連携して一体的利用を促すスキーム。	運営・維持管理等を行う事業者が公園等の利用申請代行業務やエリア全体の包括的予約管理等を担い、プラットフォームと連携して一体的利用を促すスキーム。
スキーム図 (プラットフォームの位置付けイメージ)			
想定業務	コンセプトに基づく予約管理・調整機能	プラットフォーム (低層部、道路、公園)	事業者 (低層部、道路、公園)
	公園等の申請代行	プラットフォーム	事業者
	催事企画運営等	プラットフォーム	事業者/プラットフォーム
評価概要	市の視点：競争環境	多くの事業者が対応可能	対応可能な事業者が限定される
	市民の視点：一体的利用	プラットフォームが包括的に担い、利用者からの窓口が一本化され、一体的活用促進に期待。	事業者が包括的に担い、利用者からの窓口が一本化され、一体的活用促進に期待
	事業者の視点：需要変動リスク	需要リスクは一部プラットフォームが担う。	需要リスク全体は事業者が担う。

# ⑤事業手法（案）のまとめ

事業者等のイメージを追加した図を下に示す。

 契約等  
 お金の流れ



## ⑥整備・運営の想定収入、支出について

低層部の整備・運営において現時点で想定する収入、支出は以下のとおり。

収入（利用者⇒事業者）	支出（事業者）
<b>低層部施設使用料</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントギャラリー</li> <li>・ 物販及び飲食</li> <li>・ 市民交流スペース</li> </ul>	<b>施設整備費</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内装設計工事</li> <li>・ 設備工事</li> <li>・ 内装備品等</li> </ul>
<b>催事収入（イベント利用時）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地内広場使用料</li> <li>・ キッチンカー及びマルシェ出店料</li> </ul>	<b>開業準備業務</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テナント誘致</li> </ul>
<b>駐車場収入</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地内駐車場</li> <li>・ 市民広場地下駐車場</li> </ul>	<b>維持管理費</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低層部保守管理</li> <li>・ 駐車場駐輪場保守管理</li> <li>・ 植栽等保守管理</li> </ul>
<b>その他収入（今後、他都市事例を参考に検討）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広告料収入</li> <li>・ 業務委託料（市政情報発信等の公共部分）</li> <li>・ 申請代行手数料（協力金・・・ex.大丸有）</li> </ul> ⇒PFの歳入とするケースも考えられる	<b>低層部機能運営費</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人件費</li> <li>・ 事務経費</li> <li>・ 光熱水費</li> <li>・ 広告宣伝費</li> <li>・ コワーキングスペース、魅力発信拠点等運営費</li> </ul>

## (6) まとめ

### 【事業のコンセプトや目指すべき姿】

- ・ 一体的利活用のコンセプトや目指すべき姿について、本市の計画等をもとに検討会の議論等を踏まえて整理を行った。

### 【事業手法】

- ・ 他都市事例等を参考に、事業者およびプラットフォームの定義や役割、手続きの流れ等について、一定の整理を行った。
- ・ ただし、現時点では双方の役割分担の線引きが難しいため、他都市事例における具体のメリット・デメリットの確認や実証実験等を実施し、本事業に適したスキームを検討する必要性を確認した。
- ・ 一体的利活用を柔軟に進めていくための体制として、相談・申請窓口を一本化することにより、事業者や利用者にとって利便性が高い活用につながるが見込まれる。

## (6) まとめ

### 【運営・管理手法】

- ・ 目指すべき姿の実現に向け、他都市事例や法令等をもとに方向性を整理。
- ・ 今後はそれぞれの契約手法ごとのメリット・デメリットを考慮しつつ、一体的利活用が容易となる手法の選択や事業者との連携方法の検討が必要である。

### 【事業主体】

- ・ 事業者およびプラットフォームの定義や役割等を基に、事業者に求められる要素、プラットフォーム構成員等の想定を行った。
- ・ 事業者とプラットフォームの関与度については、サウンディング型市場調査等の結果も踏まえ、次年度以降に実証実験等を実施し、双方のあり方を検討する必要がある。

## (6) まとめ

### 課題

- ① 新本庁舎（低層部・敷地内広場）について、各運営手法を選択することによるリスクについて引き続き整理が必要。
- ② 道路について、警察（道路交通法）との協議が必要。
- ③ 公園について、今後予定されている勾当台公園の再整備にあたり、本事業の業務範囲をどのように設定するのか（いこいの広場、歴史の広場の方向性など）調整が必要。
- ④ 事業採算性については、次年度以降の実証実験を通じて一体的利活用に係る民間需要の状況を把握のうえ、内容を精査する。他都市事例等を参考に、事業者・行政の双方にメリットのある仕組みを検討する。

各手法にはそれぞれメリット・デメリットがあることから、引き続き実証実験の検討や民間事業者等へのヒアリングを実施しながら、実現可能な手法を選択していくことが必要

# (7) 今後のスケジュール

